

地酒についてのアンケート結果

県では、平成 28 年 3 月に「近江の地酒でもてなし、その普及を促進する条例」が施行されました。地酒関係者による「近江の地酒もてなし普及促進協議会」も設置され、地酒振興に取り組んでいるところです。県民の皆さんの日常生活において、地酒がどの程度浸透しているか把握し、今後さらなる地酒振興につなげることを目的としてアンケートを実施しました。

★ 調査時期：平成 29 年 9 月

★ 対象者：県政モニター

★ 回答数：333 人

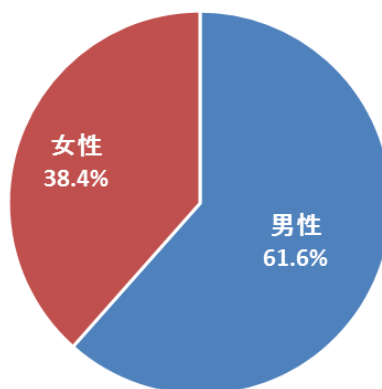
★ 担当課：商工観光労働部 観光交流局

(※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

【属性】

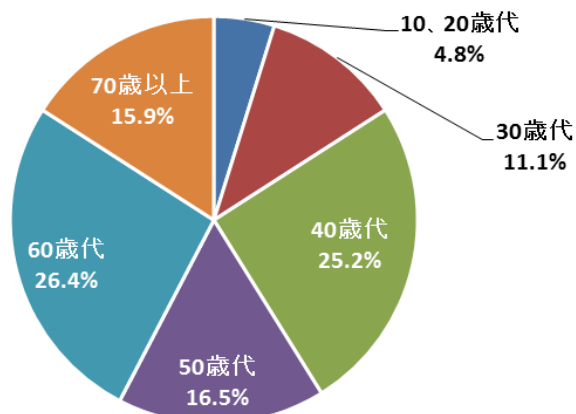
◆ 性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	205	61.6
女性	128	38.4
合計	333	100



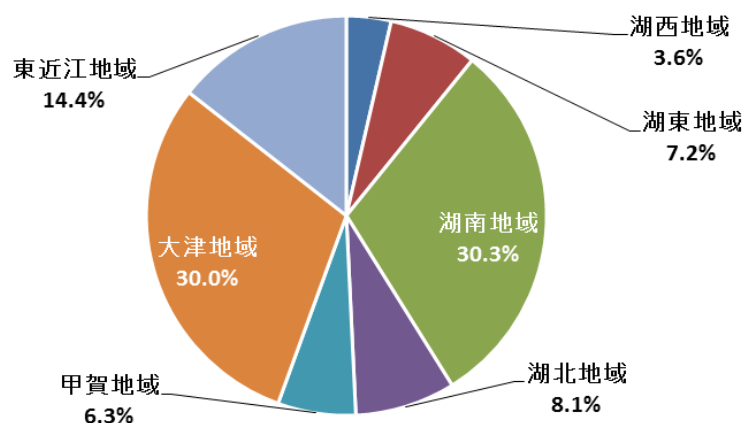
◆ 年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20 歳代	16	4.8
30 歳代	37	11.1
40 歳代	84	25.2
50 歳代	55	16.5
60 歳代	88	26.4
70 歳以上	53	15.9
合計	333	100



◆ 地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	100	30
湖南地域	101	30.3
甲賀地域	21	6.3
東近江地域	48	14.4
湖東地域	24	7.2
湖北地域	27	8.1
湖西地域	12	3.6
合計	333	100

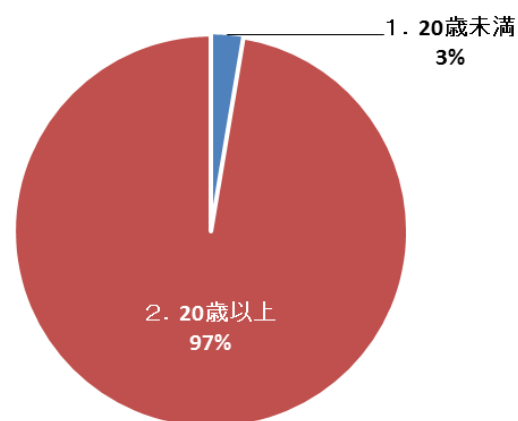


問1. このアンケートの回答時点でのあなたの年代について教えてください。

「1. 20歳未満」(未成年)と回答された方は、問2以後の質問については、20歳以上の御家族に聞いていただいた回答を答えてください。(県政モニター御本人以外の回答のため、モニターアンケートとしてではなく、参考資料として処理を行います)

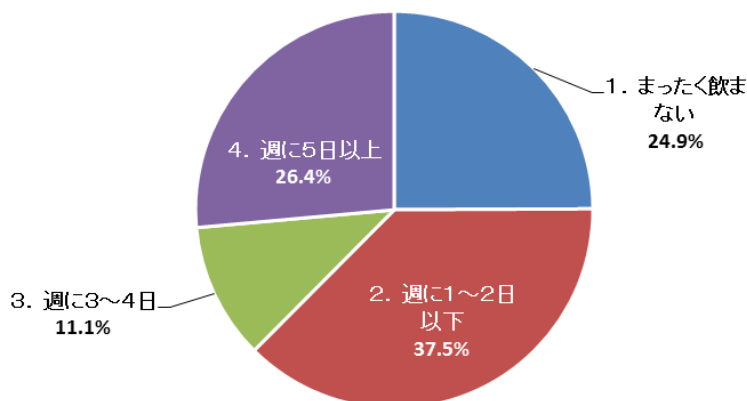
(回答チェックは1つだけ。 n=342)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 20歳未満	9	2.6
2. 20歳以上	333	97.4
合計	342	100



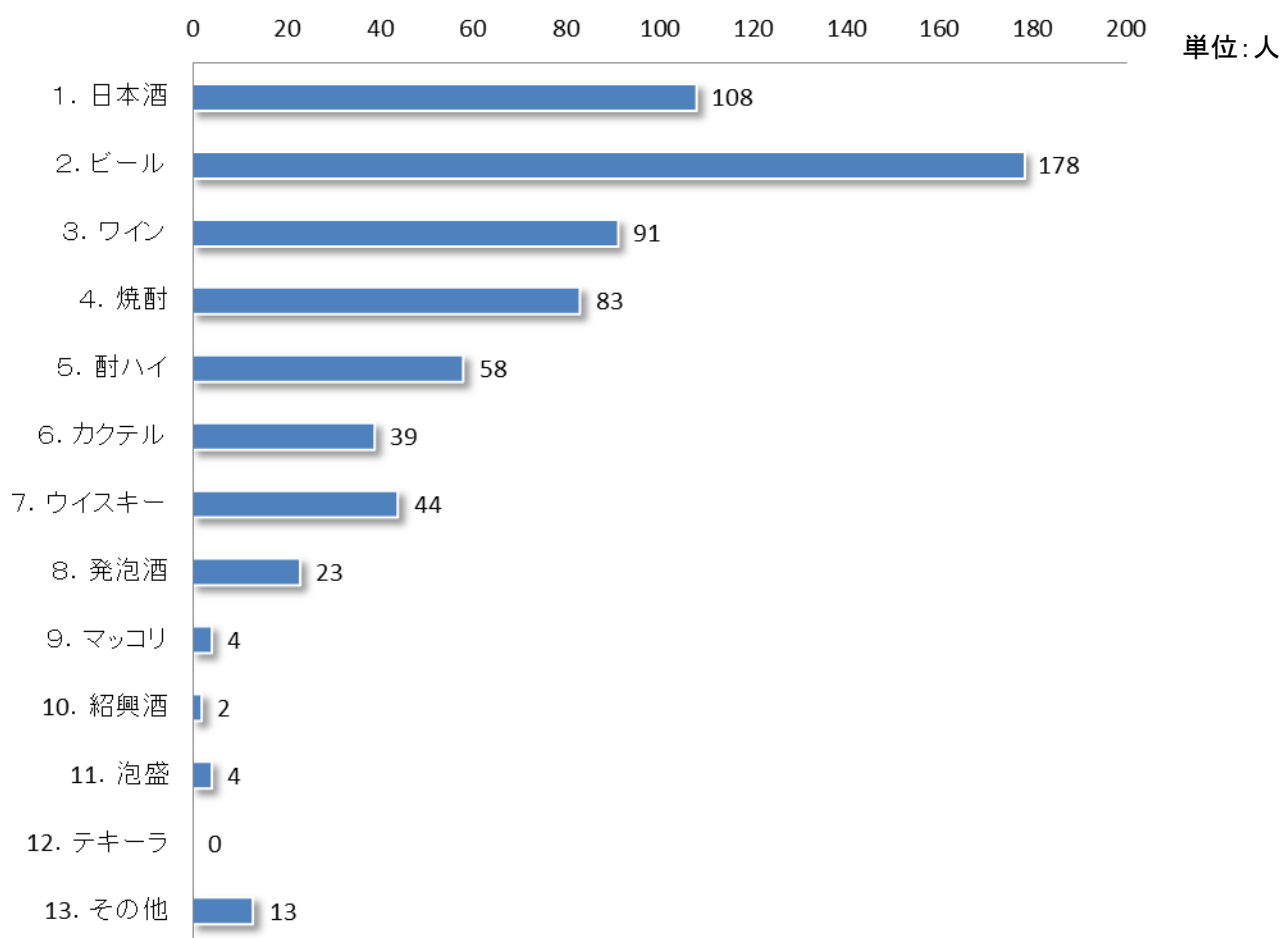
問2. 飲酒頻度について教えてください。(回答チェックは1つだけ。 n=333)

項目	人数(人)	割合(%)
1. まったく飲まない	83	24.9
2. 週に1~2日以下	125	37.5
3. 週に3~4日	37	11.1
4. 週に5日以上	88	26.4
合計	333	100



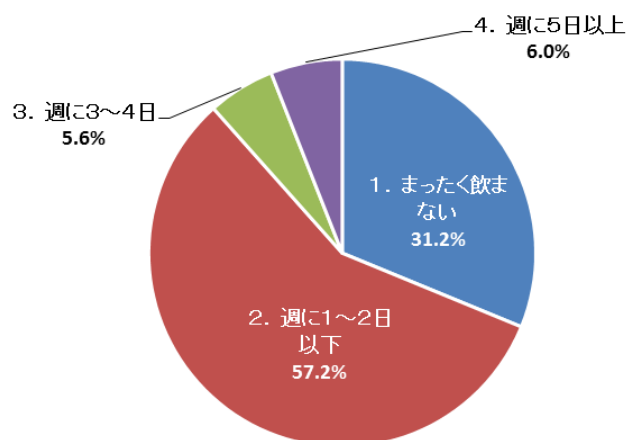
問3. あなたが好きなお酒の種類について上位3つを次の中から選んでください。(回答チェックは3つまで。 n=250)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 日本酒	108	43.2
2. ビール	178	71.2
3. ワイン	91	36.4
4. 焼酎	83	33.2
5. 酎ハイ	58	23.2
6. カクテル	39	15.6
7. ウイスキー	44	17.6
8. 発泡酒	23	9.2
9. マッコリ	4	1.6
10. 紹興酒	2	0.8
11. 泡盛	4	1.6
12. テキーラ	0	0
13. その他	13	5.2



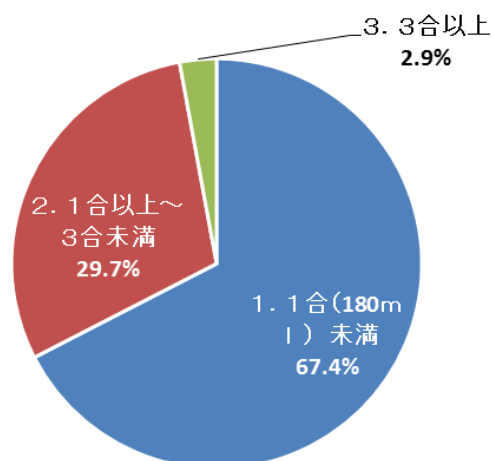
問4. あなたの日本酒の飲酒頻度について教えてください。(回答チェックは1つだけ。 n=250)

項目	人数(人)	割合(%)
1. まったく飲まない	78	31.2
2. 週に1~2日以下	143	57.2
3. 週に3~4日	14	5.6
4. 週に5日以上	15	6.0
合計	250	100



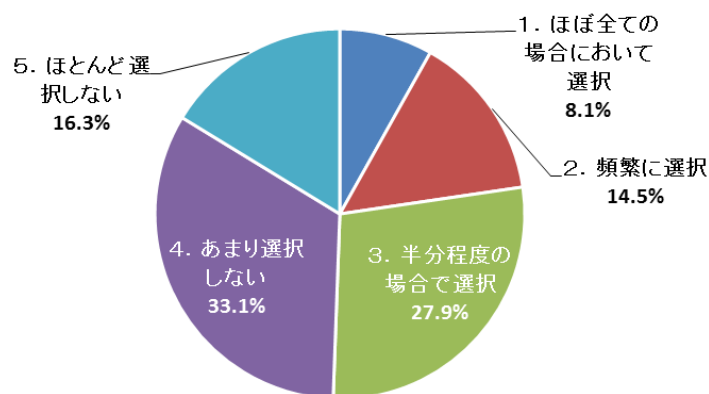
問5. 問4で2~4と回答した方にお聞きします。1日あたりの日本酒の飲酒量はどのぐらいですか。(回答チェックは1つだけ。 n=172)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 1合(180ml)未満	116	67.4
2. 1合以上~3合未満	51	29.7
3. 3合以上	5	2.9
合計	172	100



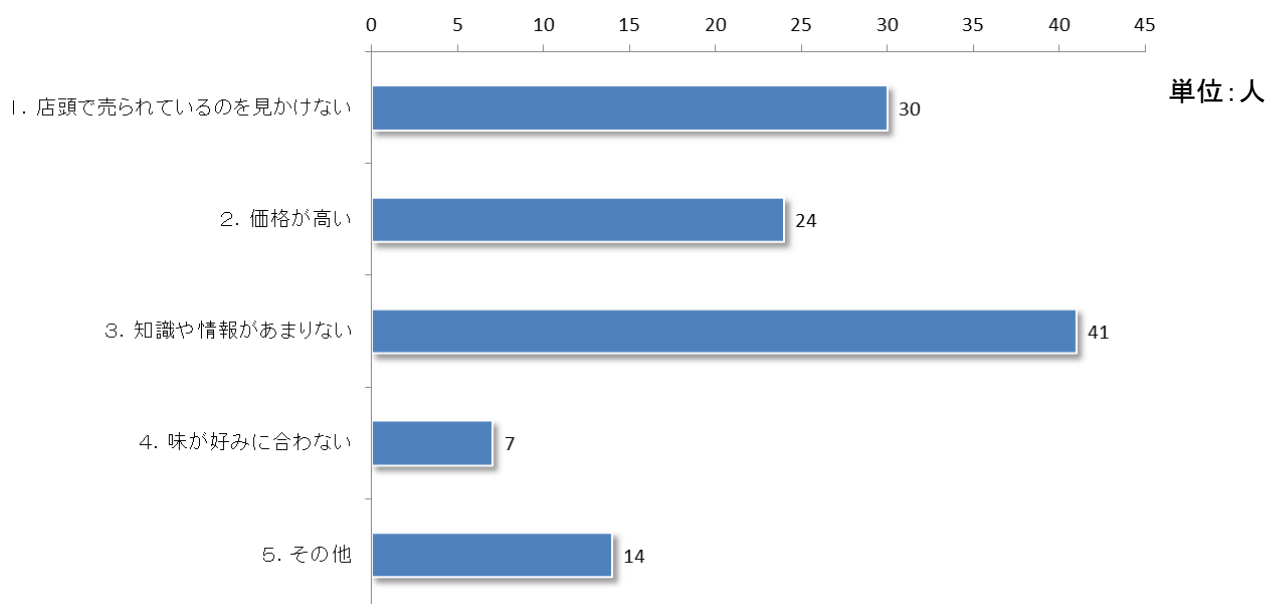
問6. 問4で2～4と回答した方にお聞きします。日本酒を飲酒する際に滋賀県で生産された日本酒をどの程度選択されますか。(回答チェックは1つだけ。 n=172)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ほぼ全ての場合において選択	14	8.1
2. 頻繁に選択	25	14.5
3. 半分程度の場合で選択	48	27.9
4. あまり選択しない	57	33.1
5. ほとんど選択しない	28	16.3
合計	172	100



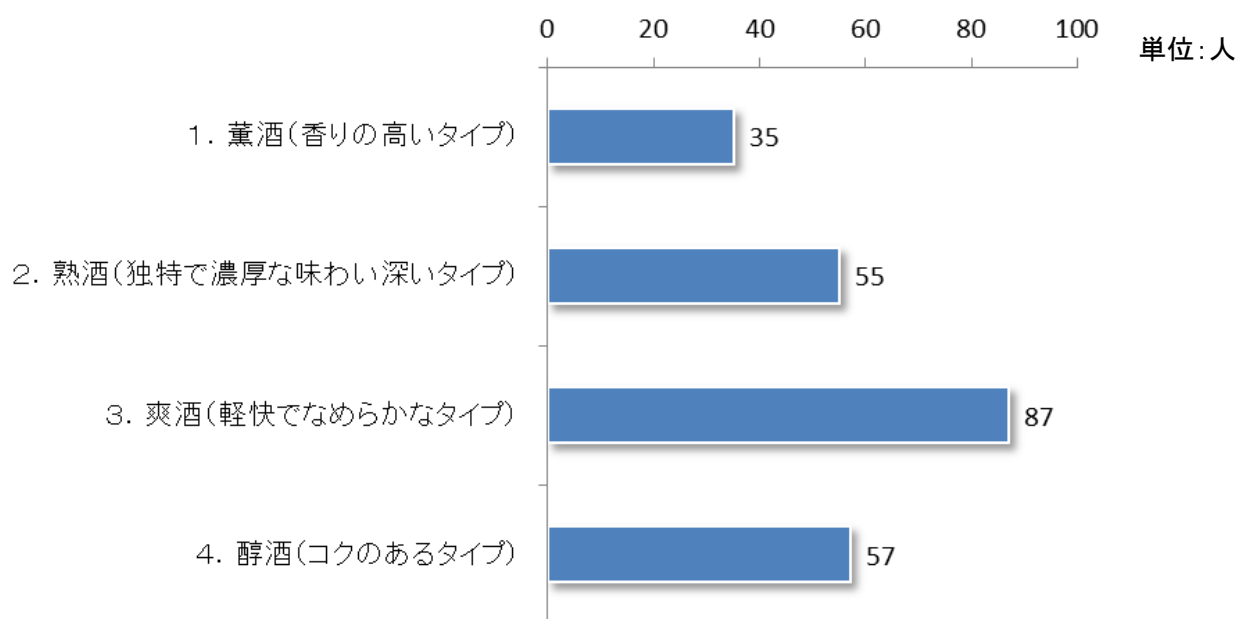
問7. 問6で4、5と回答した方にお聞きします。滋賀県で生産された日本酒を選択しないのはなぜですか。(回答チェックは2つまで。 n=85)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 店頭で売られているのを見かけない	30	35.3
2. 価格が高い	24	28.2
3. 知識や情報があまりない	41	48.2
4. 味が好みに合わない	7	8.2
5. その他	14	16.5



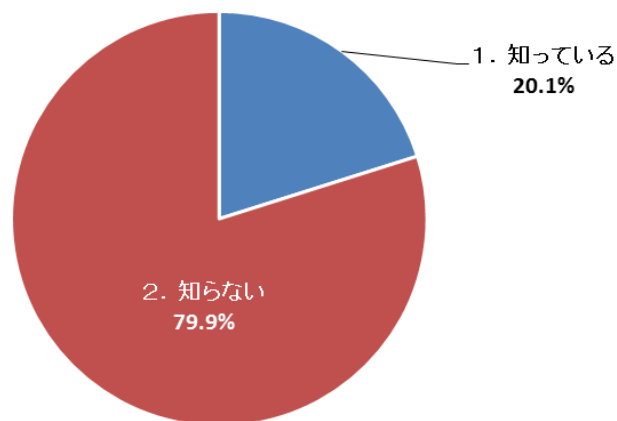
問8. あなたの日本酒における味わいの好みについて教えてください。(回答チェックは2つまで。 n=172)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 薫酒(香りの高いタイプ)	35	20.3
2. 熟酒(独特で濃厚な味わい深いタイプ)	55	32
3. 爽酒(軽快でなめらかなタイプ)	87	50.6
4. 醇酒(コクのあるタイプ)	57	33.1



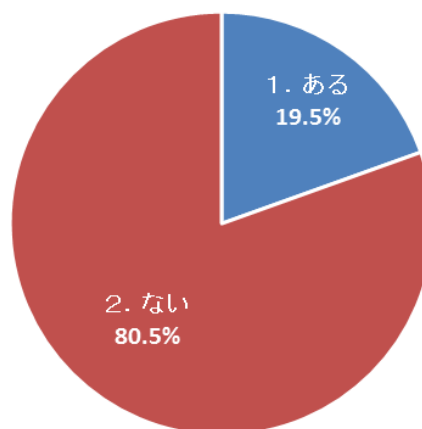
問9. 滋賀県に地酒に関する条例「近江の地酒でもてなし、その普及を促進する条例」があることを知っていますか。(回答チェックは1つだけ。 n=333)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	67	20.1
2. 知らない	266	79.9
合計	333	100



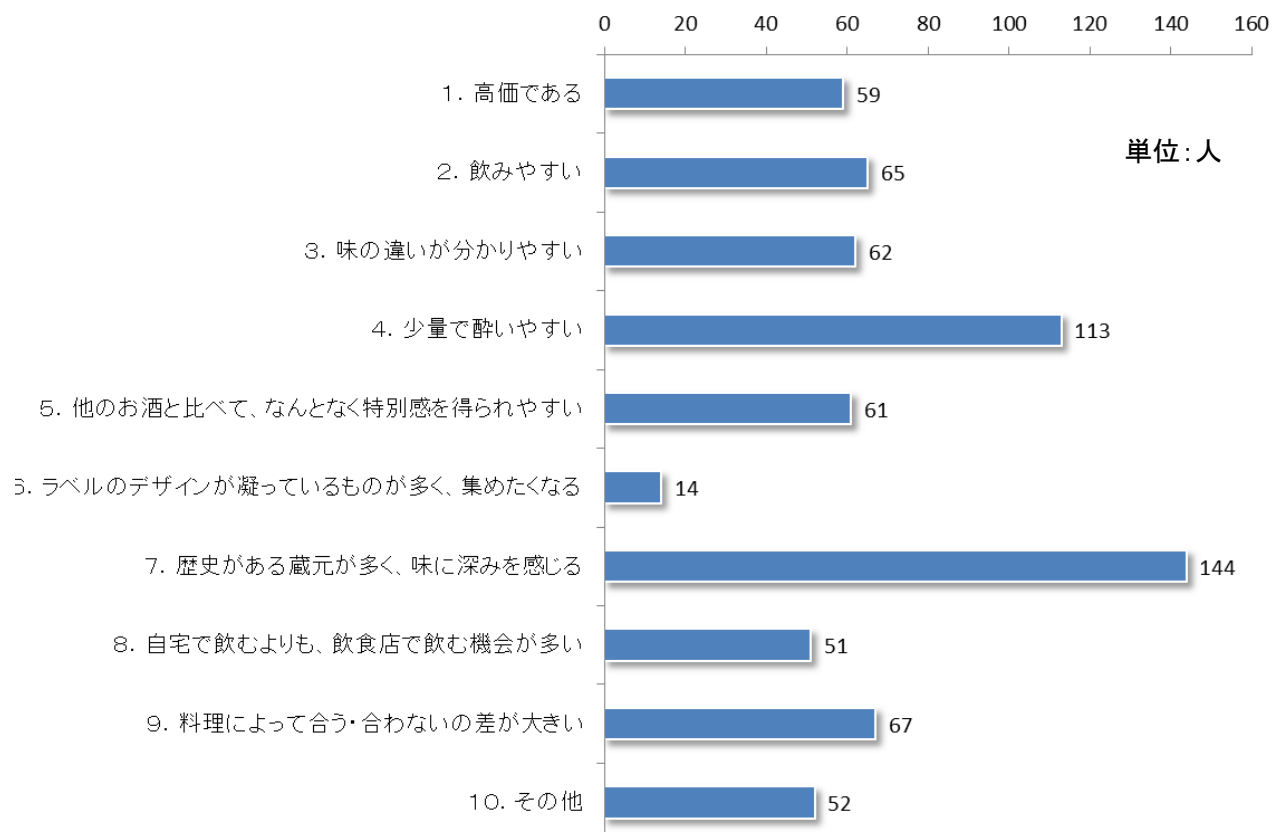
問 10. 日本酒に関するイベントに参加したことはありますか。(回答チェックは1つだけ。 n=333)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ある	65	19.5
2. ない	268	80.5
合計	333	100



問 11. あなたの日本酒に対するイメージについて教えてください。(回答チェックは3つまで。 n=333)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 高価である	59	17.7
2. 飲みやすい	65	19.5
3. 味の違いが分かりやすい	62	18.6
4. 少量で酔いやすい	113	33.9
5. 他のお酒と比べて、なんとなく特別感を得られやすい	61	18.3
6. ラベルのデザインが凝っているものが多く、集めたい	14	4.2
7. 歴史がある蔵元が多く、味に深みを感じる	144	43.2
8. 自宅で飲むよりも、飲食店で飲む機会が多い	51	15.3
9. 料理によって合う・合わないの差が大きい	67	20.1
10. その他	52	15.6



問 12. あなたが日本酒に求めるものについて教えてください。(抜粋)

- ・消費者が飲みやすい様に妥協した商品が目立つ。どうせ地酒と銘打って作るならばその土地土地の風味を活かして消費者に妥協しないその土地だけにしかない地酒を是非作って欲しいですね。
- ・味、飲みやすさ。
- ・滋賀の地酒についてもっと知りたいのだが、情報が少ないように思う。県内に限らず、全国に知れ渡るような努力を、官民挙げて行うべきだと思う。近く(京都や大津)のデパートで、北海道物産展や沖縄物産展が行われると必ずでかけるが、いつもにぎわっている。滋賀県内の業者も札幌、東京、名古屋、広島、福岡、那覇などで滋賀物産展を開くべきだと思う。ネットでもよいが、お酒なんかは試飲しながら皆さんに味わってもらうべきではないだろうか。
- ・滋賀県でのブランドを育てては・・・近江牛には〇〇〇酒、鮒ずしには〇〇〇酒。
- ・日本酒は種類が多いので、どれを買ったらよいかわからない。大阪の百貨店のイベントで日本酒の味比べなどでいろんな種類を飲むことができるので来店したことがある。
- ・手軽に飲める様にペットボトルで販売して欲しい。なぜ、ガラスのワンカップばかりなんですか。それか紙パックです。外でチビチビ飲めない。酒呑みは、チビチビが一番良いのです。ペットボトル化してください。
- ・社会人となって以来、日本酒を飲む場面を多く体験し、また色々な飲み方も経験してきた。しかし、60歳を過ぎた頃からは嬉しい時、楽しい時に飲む日本酒が至福の時をもたらしてくれて最良であり、また日々の快い疲れの中で飲む酒は心身を癒してくれるひと時である。辛い時、苦しい時には酒は飲まないことにしている。従って、コクのある芳醇な日本酒が一番である。
- ・日常的に飲みたいので、そこそこの味と価格の安さ。たまに贅沢をしたいときには普段の2~3倍の値段でもいいが、確実においしいと思える味が欲しい。
- ・日本酒を全く飲まないのどう答えていいかわからないが、日本酒とあわせて食べるものの味を壊さないまたは味を引き立たせること大事でしょう。
- ・飲めないの何とも言えない。
- ・日本酒に求めるものは、私は滋賀の地酒が大好きだが、やはり生産量の関係か、飲みたいお酒が手軽に入手出来るシステムを考えて欲しい。

なかなか、近くのお店に流通しておらず、求めにくい。

- ・最近では飲みやすい酒が多くなったのが、一寸寂しい。
- ・悪酔いしないような健康によいイメージが必要。
- ・地方の銘酒には大変興味が有りますが、飲んで見なければ味・香り・コクは分かりません。新規銘柄にかつては積極的に取り組んだが、当り・外れがあり困惑もした。味覚の統一基準があれば、好ましい。
- ・病気により、医師に飲酒止められるまでは、底なし沼のように飲んでいました。スーパーなどでお酒のコーナーを通った時感じるのが、日本酒は一升瓶のイメージが強く、ラベルが目立ちにくいので、缶ビールなどのようにインパクトの強いものにならないものではないのでしょうか。特に「冷酒」などで地域の特色を出すなど。
- ・地酒の個性。
- ・米の銘柄にこだわった日本酒の開発を進めて欲しい。
- ・滋賀から日本全国に知られるようにブランド化が必要。
- ・気軽に飲める安価で飲みやすいものを情報提供し、スーパー等でも販売して欲しい。日本酒についてのイベントや試飲などの機会があるといいですね。高級でこだわりの日本酒だけを特別視するのではなく日常で日本酒を楽しむような情報を提供して欲しい。
- ・日本酒は米と水で味が決まります。近江米は広く知られて食されています。また、琵琶湖の水は京阪神の飲料水であることもよく知られていることです。この点からも地酒をPRできるのではないのでしょうか。

問 13. その他、日本酒について御意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・蔵元の大小に拘わらず、こつこつと本物の美味しい酒をこつこつと造る所を県も応援すべき。
- ・お酒だけで県外にひろめるのは難しいと思うのもっと料理とともに広がればとおもいます。
- ・海外からの観光客向けに何かしてはどうかと思います。
- ・滋賀県産地酒フェアの開催。滋賀県産食材を使った料理で地酒を楽しむイベント（主体はあくまでお酒）。
- ・滋賀県の地酒条例にはあまり感心しない。イベントや地酒・造り酒屋などの情報が不十分。神戸の灘五郷のようになるのは程遠い。不可能かもしれない。
条例で押し付けるのは反発がある。

- ・ 海外への販路が時折話題になりますが、ワインが日本人の生活に入り込んでいるように、日本酒の銘柄が他国に定着することも十分考えられます、すでに企業努力はされていることでしょうか、益々の攻勢を期待します。
- ・ 初詣のお神酒、お屠蘇しか当家では日本酒を必要としない。私個人としては、今のところビールとウイスキーが有れば事足りている。どうしたら日本酒が好きになれるかな？
- ・ 特徴ある地酒を造り続けてほしい。
- ・ 若い人にも好まれる楽しい飲み方を紹介していただきたいです。
- ・ 日本酒の飲み方をアレンジしたり、何か飲み方を提案するような企画などがあるともう少し盛り上がるのでは（ハイボールのような・・・）。周りには日本酒が好きな人間も多いのでちょっとしたきっかけのような気がします。
- ・ 飲んだことが無いから解らない。
- ・ 日本独自の酒なので、世代が変わっても、大切に受け継がれたい。
- ・ 蔵元で独自の開発に取り組んでおられる努力に敬意を表したい。
- ・ 飲むのであれば地酒を選びたいが、PR 不足なのかすぐに銘柄を思いつかない。鮮明な印象を与える宣伝戦略が必要ではないか。
- ・ お酒を飲む習慣のない方には、日本酒＝飲みにくいというイメージがあるように感じます。非常に飲みやすく美味しいお酒があるということをもっとアピールすべき。
- ・ 利き酒や料理とのコラボ。
- ・ 一升瓶のイメージが強く、買いにくい。500 や 350 での販売があれば、買いやすいかも。
- ・ もっと大衆酒になると嬉しい。
- ・ 滋賀の日本酒は美味しいと思う。銘柄も多いが各種の特徴が有って飲み比べている
- ・ 地酒について 53 の蔵元を調べたことがありました。知人の土産に地酒を持参するようにしています。